



札幌市自立支援協議会

東区地域部会

号 外 令和7年9月発行



東区地域部会は、強度行動障がい支援に携わる支援者の育成を目的として、「強度行動障がい支援者育成モデル研修」を実施しています。

本モデル研修は「標準的な支援についての理解を深める」「事例を通じて具体的な支援方法について知る」「支援者間のネットワークの向上」を目的とし、基礎的な内容の確認とともにグループワーク等の演習を多く取り入れた構成となっております。

今回は「行動を整理して支援を考える」がテーマでした。

今回の研修のポイントは以下の2つです。

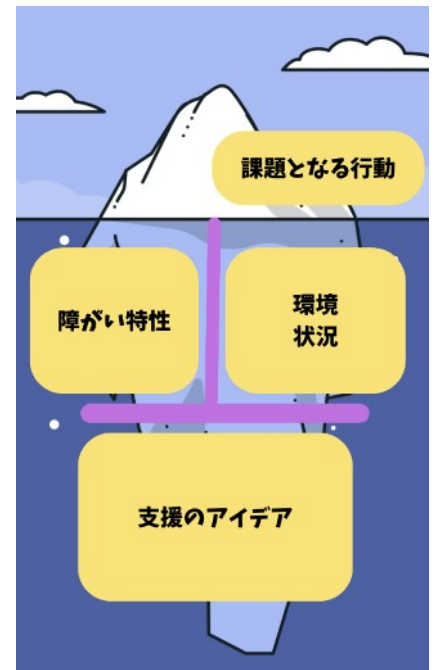
- ・ 氷山モデルから行動の背景を整理する
- ・ 事例から課題となる行動を決め、チームで支援を考える

「課題となる行動」はチームとしての共通認識が必要です。そのためには、行動を整理する視点をもつことが大事です。行動を整理する考え方について、いくつかお話をさせていただきました。

そして、氷山モデルについての理解を深めています。

- ① 「課題となる行動」は具体的に！
- ② 「課題となる行動」にのみ注目するのではなく、背景となる障がい特性と環境状況を整理して、ミスマッチを整理する！
- ③ ミスマッチをなくすため支援のアイデアをたくさん出す！
をポイントにお話しさせていただきました。

後半は3～4名のグループになっていただき、事例を読み取り、氷山モデルに整理して考えていただきました。今回は事例が長かったのですが、事例を読み込むことに難しさを感じることもあったかと思いますが、チームで「課題となる行動」を決めたり、チームで話し合っミスマッチを見つけたりアイデアを考える経験ができたかと思います。研修の中でもだんだんと顔なじみの関係性ができていたり、新たな繋がりの方が生まれています。ぜひご興味ある方は参加してください。継続的かつ実践的な学びの場で支援力の向上と支援者同士のつながりを強めていきましょう。



【次回のお知らせ】

テーマ：よか支援を考える

と き：令和7年11月14日（金）18：30～20：30

と ころ：東区役所3階 第2会議室（東区北11東7）
※参集のみ。オンライン対応はしていません。

さん か：下記のリンクまたは右 QR コードからお申し込みください
→申込先はこちら（Google forms）

主 催：札幌市自立支援協議会東区地域部会



次回申し込み
QRコード